

不登校支援のイマ

不登校の児童生徒が安心して
自分らしく居られる居場所づくり

一般社団法人かけはし 代表理事 廣瀬貴樹



本日の流れ

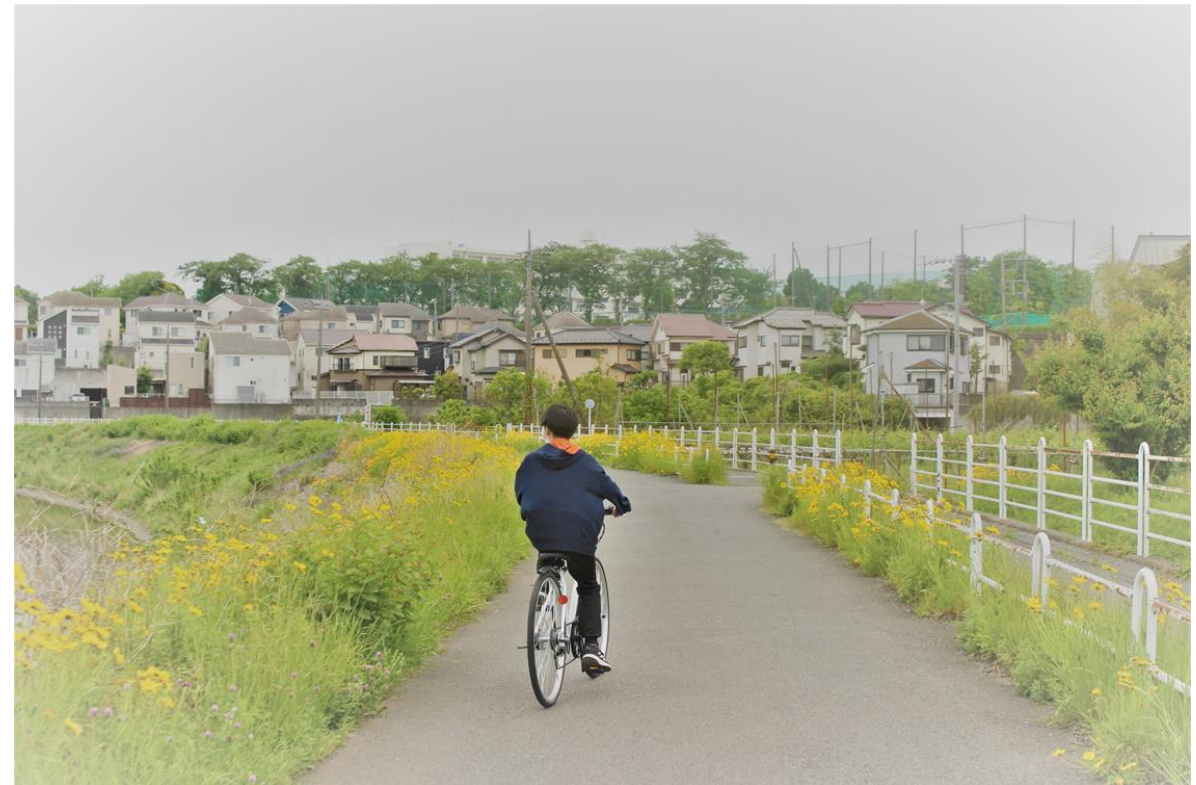
- ①設立経緯「なぜ教員を辞めて、居場所づくり」なのか？
- ②かけはしの「まなべる居場所」とは、どんな場所？
- ③大人の居場所「大人のかけはし」とは？
- ④学校連携・民民連携
- ⑤現状の課題と今後の可能性

① 設立経緯

生きづらさを抱えている子どもたちとの出会い

- 発達障害
- 人間関係
- 複雑な家庭環境
- 子どもの貧困
- 学校のしくみ

不登校になる子どもたち



学校以外の居場所・学び場の必要性

- ・ 学校の多忙化

- ・ 担任の先生、児童指導専任の先生の限界

- ・ 学校の責任

不登校の理由・・・言葉にできない

その背景とは

○人間関係のつまずき

- ・友達関係（コミュニケーション・トラブル・いじめ）
- ・教師との関係

○学習、生活面での困り感

- ・集団行動
- ・細かいルール（学校スタンダード）
- ・一斉指導のやり方

○人一倍敏感な子、繊細な面

子どもたち一人ひとりの傷

「なんで学校に行けないんだ」

「勉強がわからない」

「先生がこわい」

「友達関係がうまくいかない」

「集団の中に入れない」

自己否定感

「自分は馬鹿だから。」

「自分には良いところなんてない。」

「自分なんて死んだほうがいい。」

自己肯定感 (自尊感情)

「自分は自分でいい。」

「自分にはこんな良いところがある。」

「自分らしく生きていきたい。」

ミッション

こどもたちが安心してながら、自分自身を信じる力と自分の可能性を切り拓く力を育む

居場所を創っていききたい

こどもたちの「今」と「未来」へ繋がるほんの小さなかけはしになりたい

こどもたちとまだ出会ったことがない人との出会いのかけはしになりたい

まだ知らない「自分」とここで知るかもしれない新しい「自分」とのかけはしになりたい

だれもが幸せに生きることが出来る社会へのかけはしになりたい

生きづらさを抱
えるこどもに

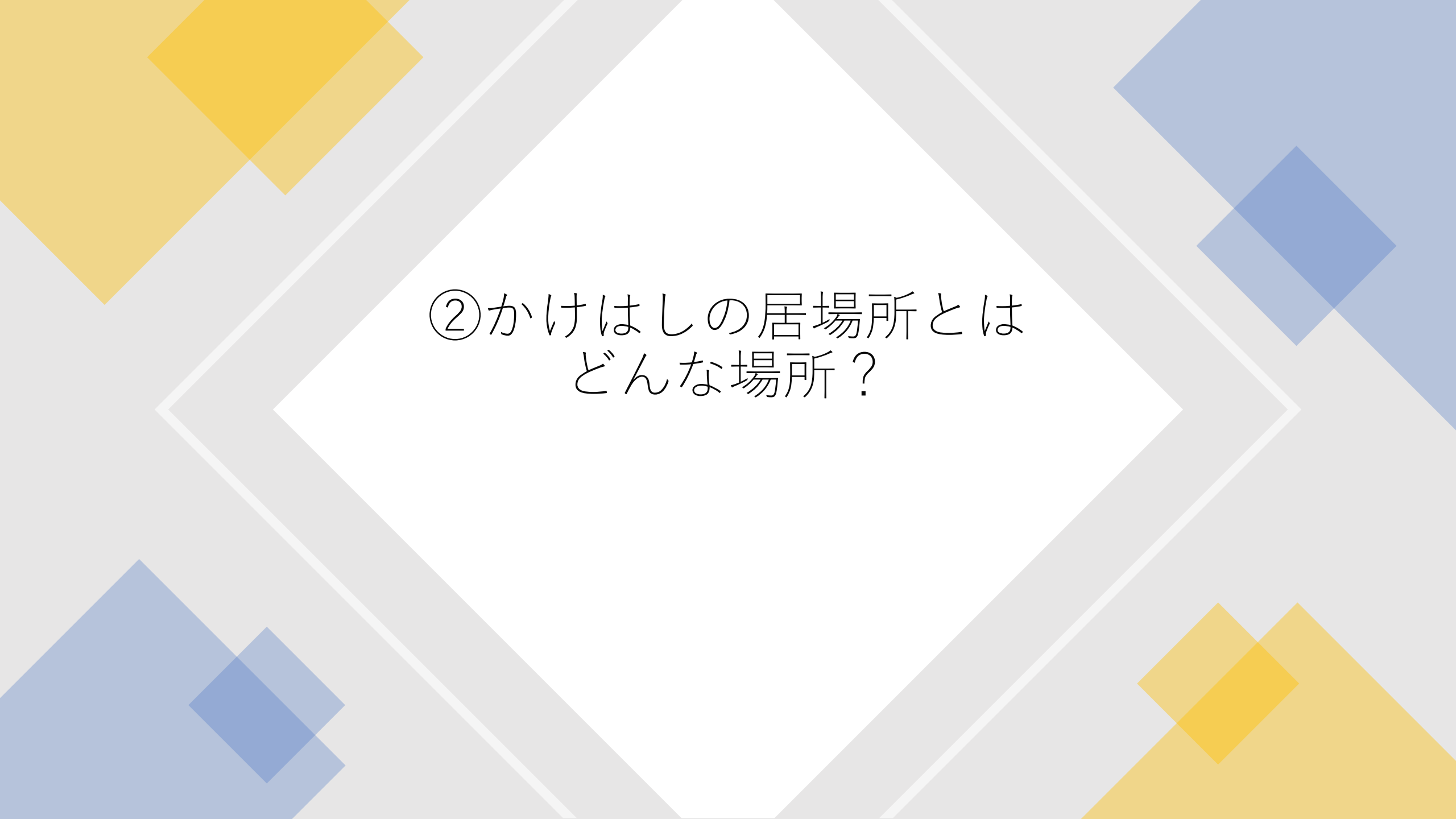
とことん
寄り添いたい

土になりたい


か
け
は
し



設 置 者 区 行 政 区	小 学 校						中 学 校						生徒数	
	長 期 欠 席 者					児童数	長 期 欠 席 者							
	総 数	病 気	経済的 理 由	不登校	新型コロ ナウイル ス 感染回避		その他	総 数	病 気	経済的 理 由	不登校	新型コロ ナウイル ス 感染回避		その他
令 和 2 年 度	3,770	465	—	2,160	685	460	178,877	4,065	250	—	3,527	200	88	77,118
公 立 (市 立)	3,770	465	—	2,160	685	460	178,877	4,065	250	—	3,527	200	88	77,118
鶴 見 区	340	24	—	217	44	55	14,607	337	21	—	306	4	6	6,136
神 奈 川 区	171	24	—	95	34	18	9,901	205	16	—	179	3	7	4,092
西 区	96	5	—	48	31	12	3,999	86	—	—	80	5	1	1,224
中 区	266	39	—	76	58	93	4,694	123	6	—	106	7	4	2,006
南 区	215	29	—	116	52	18	8,012	233	10	—	199	21	3	3,612
港 南 区	210	21	—	158	22	9	9,863	236	26	—	205	2	3	4,864
保 土 ヶ 谷 区	220	23	—	133	40	24	9,087	245	5	—	231	6	3	4,199
旭 区	241	33	—	149	36	23	11,927	256	15	—	224	11	6	5,257
磯 子 区	157	26	—	75	32	24	7,871	161	16	—	140	4	1	3,281
金 沢 区	204	34	—	84	40	46	9,298	231	9	—	202	20	—	4,654
港 北 区	278	43	—	163	43	29	17,048	282	6	—	244	22	10	5,795
緑 区	170	11	—	123	28	8	9,558	245	26	—	208	4	7	3,935
青 葉 区	285	25	—	135	83	42	15,681	308	26	—	232	29	21	6,327
都 筑 区	239	27	—	131	60	21	13,630	251	16	—	206	19	10	5,801
戸 塚 区	225	39	—	151	28	7	14,380	302	24	—	262	14	2	6,508
栄 区	110	17	—	65	18	10	5,938	127	13	—	107	3	4	2,390
泉 区	197	40	—	120	23	14	7,400	221	13	—	197	11	—	3,872
瀬 谷 区	146	5	—	121	13	7	5,983	216	2	—	199	15	—	3,165

The background features a light gray diamond shape centered on a white background. This diamond is surrounded by four overlapping, semi-transparent geometric shapes: a yellow diamond in the top-left, a blue diamond in the top-right, a blue diamond in the bottom-left, and a yellow diamond in the bottom-right. The text is centered within the white diamond.

②かけはしの居場所とは
どんな場所？



一般社団法人かけはしの取組

○まなべる居場所づくり

毎週4回

月 10:15～14:00

下和泉地域ケアプラザ

火 9:30～11:30

南希望が丘地域ケアプラザ

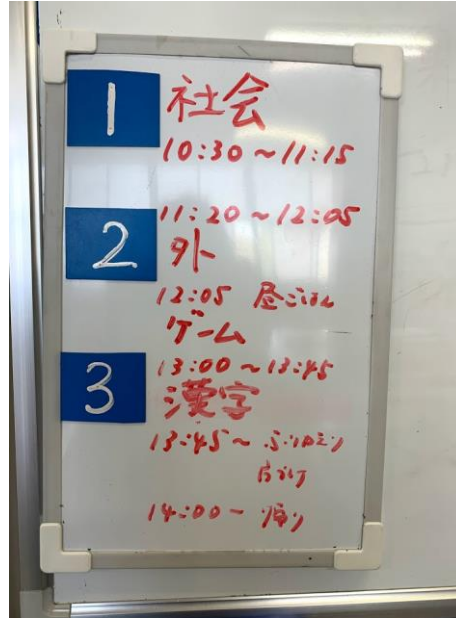
水 9:30～14:00

いちょうコミュニティハウス

金 9:30～11:30

いずみ野地域ケアプラザ・泉図書館

子どもたちの思いに寄り添うこと



日常の
あたりまえから
「生きる」を
感じる

4/23(金)

おはようございます

7:40

既読
7:40

おはようございます🌞

4/24(土)

おはようございます

16:33

孤独

何もしなくていい場

成長を求めない場

本来その子がもっているパワーをためる場

○比較しない
比較されない場



ほんの少し　ほんの少しずつ
歩み寄る

安心感が生まれて
はじめて居場所と
なりえる



その子らしさを
伸ばす場



体験的な活動を軸に



4月

DIY講座・わくわく農園

電子書籍づくり

5月

プログラミング教室

わくわく農園

6月

わくわく農園

茶道体験

7月

絵の講座・わくわく農園

9月

おもしろ理科実験、ピザづくり

わくわく農園

10月

わくわく農園

アフリカの音楽を楽しもう



わくわく農園

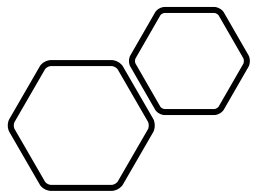
かけはしの大人のまなざし

伴走者

一緒に居る

○自主性が
なにより
尊重される場

やる・やらないの選択の自由
自分で決める



運動会

種目を自分たちで考える
出る、出ないは自由
大人も子どもも一緒に参加



夏祭り

- 自分たちで企画・準備



安心感が生まれると

だんだんとやる気が出てくる

自信がついてくると

いろいろなことに挑戦しようとする

こどもの思いや願いを叶えるイベント

こどもがやりたいと言ったら動き出す、参加は自由

- 3月 江の島遠足
- 4月 みそづくり
- 5月 かけはし運動会
- 6月 サッカー観戦
- 7月 山登り（大山）
- 8月 夏祭り
- 9月 海でマリンスポーツ（台風で中止）
- 10月 ハロウィンパーティー



自分の意見を自由に言える場

言えなくてもいい空間

居場所のもつチカラ

- ・ 傷ついた心を温めるチカラ
- ・ ストレスを発散できるチカラ
- ・ だんだんとやる気が出るチカラ
- ・ 人への信頼が生まれてくるチカラ
- ・ 人に関わろうとするチカラ
- ・ チャレンジしてみようかなと思えるチカラ
- ・ 自分のことを好きになるチカラ

学校に行きづらい子の支援とは？

その子自身が自分の意思で、自分の力で乗り越えることをサポート

○待つこと

- ・その子自身の本来もっている力を溜める休息としての時間

○知ること

- ・その子の個性、世界、傷、生きづらさなどに、身を寄せること、その子の目線に立つこと

○つながること

- ・細くでも、太くても、短くても、長くても、その子が求めている線で、決して切れずにつながっているという感覚をその子と保護者がもててていること

○認めること

- ・その子の今のありようもOKというスタンス
- ・その子の頑張り、すばらしさを認めること

- 居場所は個性・持ち味を伸ばす場
- 社会性：子どもたちが自分で関係を創り出す力
- 人間性：自分が人とどう生きていくか、人間力

「嫌いだった奴を好きになれた。

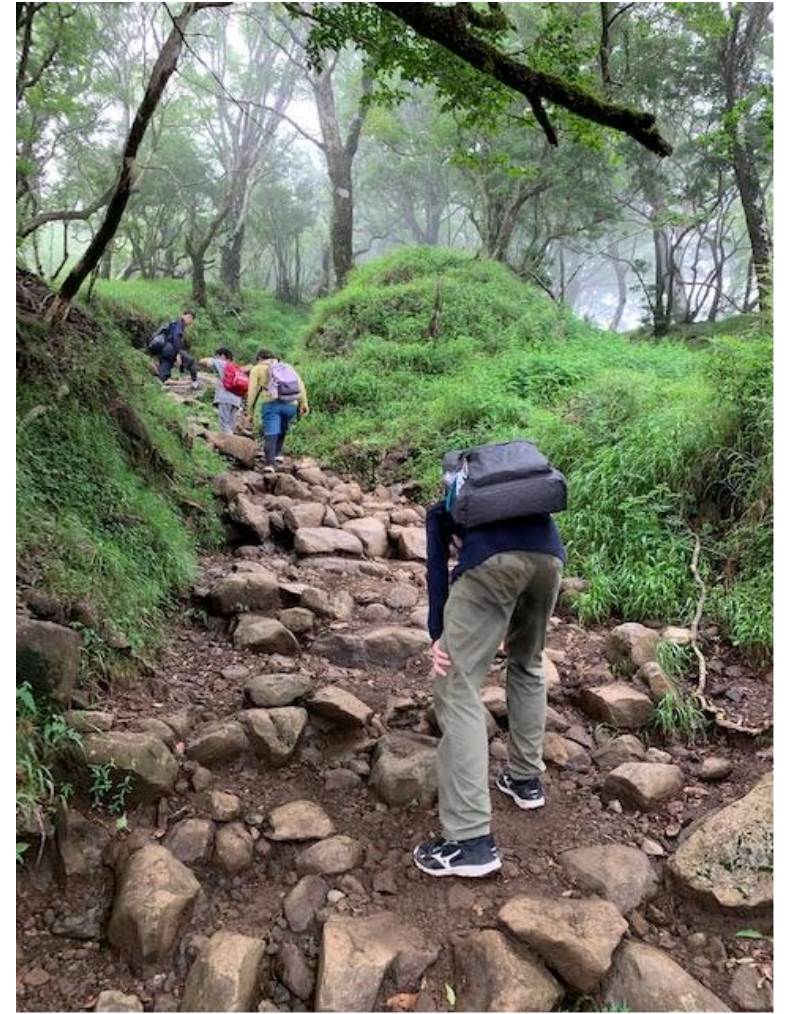
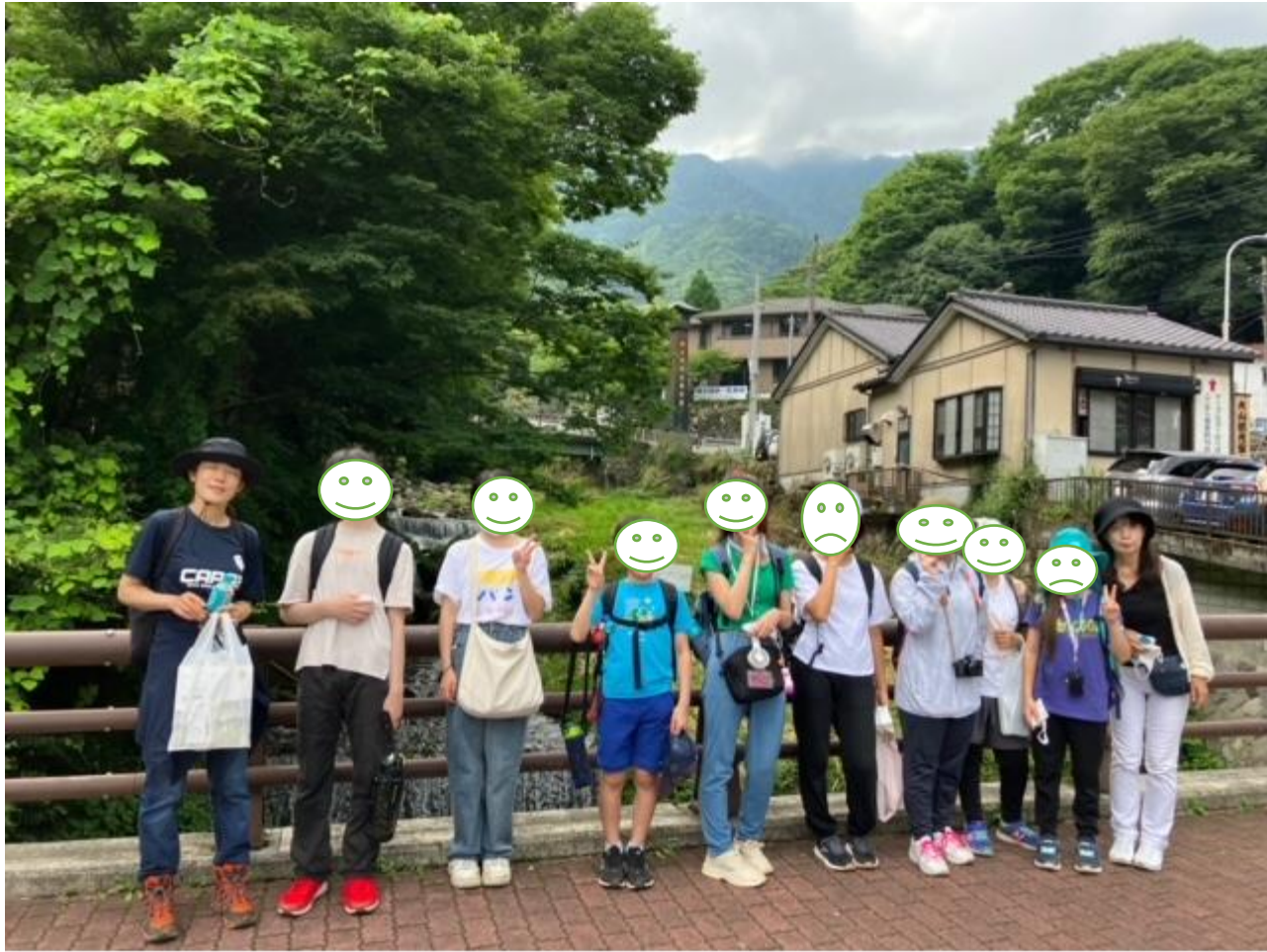
これが14年間生きてきた中で一番の成長」

居場所は、個性とともに社会性・人間性を育む場

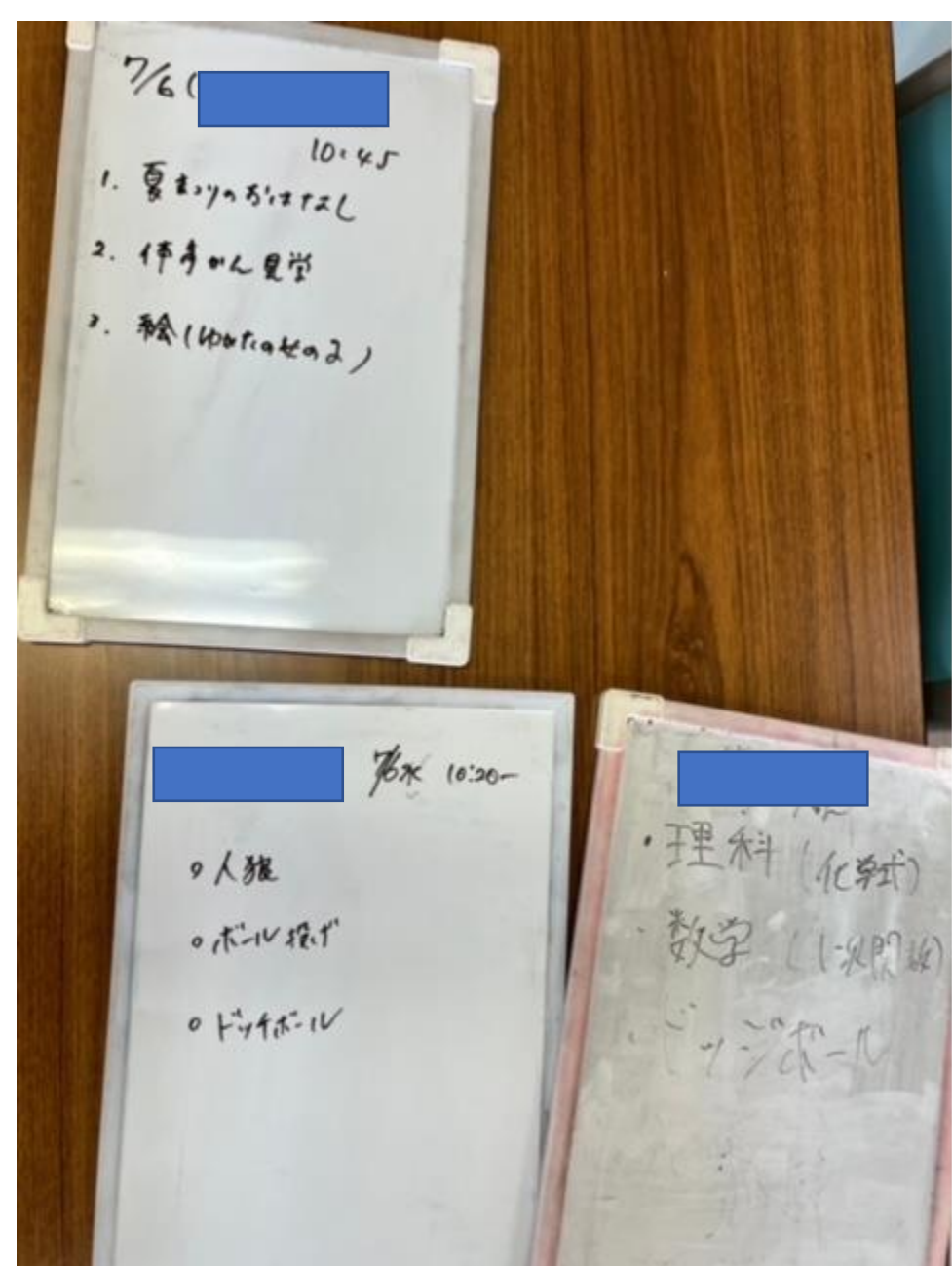
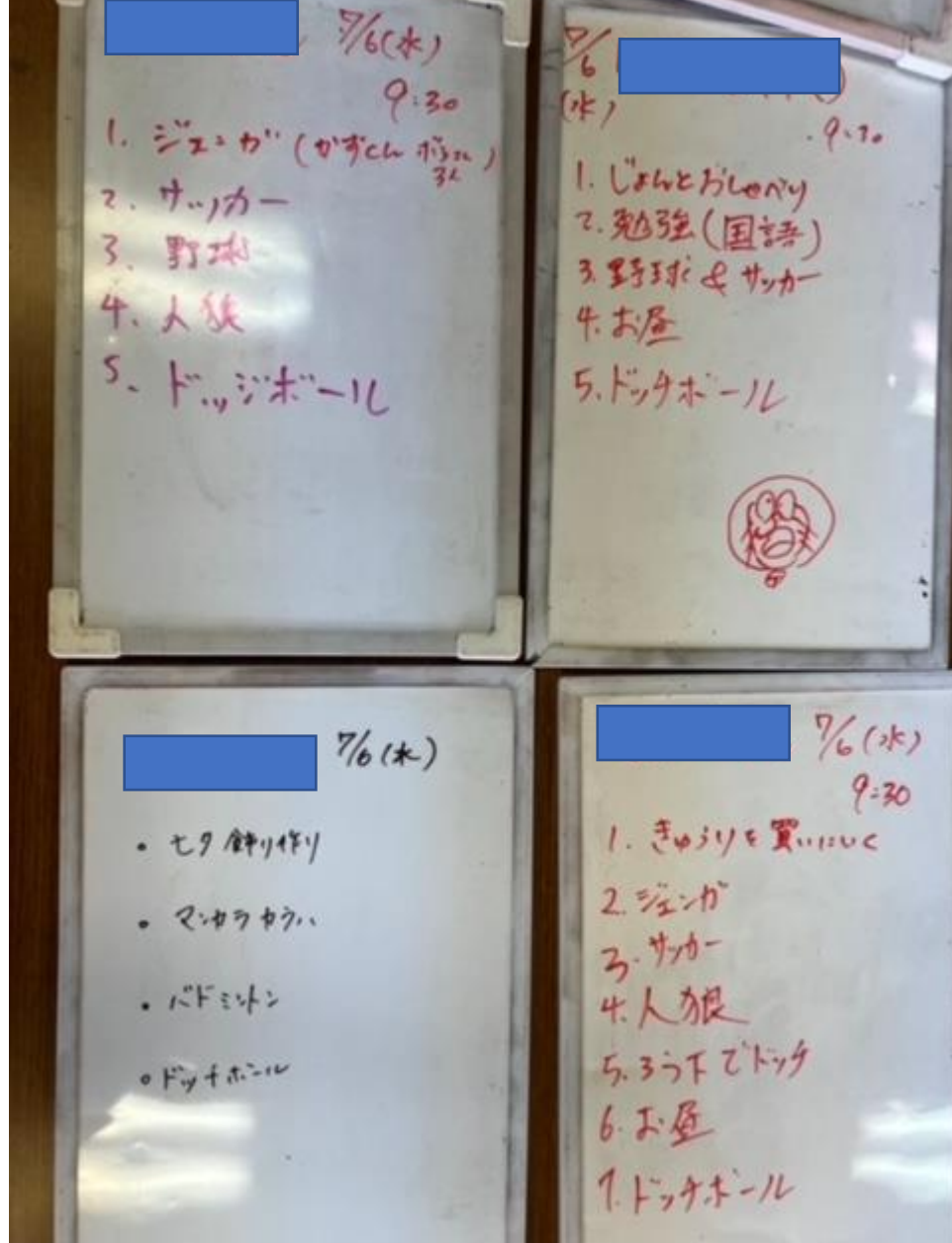
一人で生きていこうと決めた

でも一人は心細かった

「だから時間をかけてみんなと生きていこうという気持ちをつかんだ」



決められること・行かされること
→自分で決めること・自分の足で行くこと



集団に合わせること → 自分で考えて動くこと



教えられること → 自ら学ぶこと ・ 教えること

社会的自立とは？

自分が幸せになるために「実を増やす」
自分で自分の可能性を切り拓く力

他者が幸せになるための「実を増やす」
社会の一人として誰かを幸せにする力

③大人の居場所
— 大人のかけはし —



保護者の 方々の 悩みや不安

不安や悩みを打ち明けられない

→共感されづらい

子どもと離れられない

→ずっと一緒にいる時間

子育て、家事、仕事

→自分のペースでできない

将来への不安

→先が見通せない

保護者の方々の心の声

「あたりまえってなんだろう？」

「自分（母）にとっての居場所がないと！」

「だって大変だもん！！」

「こっちがつかれちゃう！！」

「疲れた母を見て、こどもは不安になる」

「プチごほうび！！」

「自分ファーストの時間」

「自分のテンションをあげないとダメ」



「孤独」を感じるのは親も一緒。

大人にとっても「居場所」が

絶対に必要であるということ



④学校連携・民民連携

- 泉区、区外の小中学校25校との連携➡出席扱い
- 小中学校からのこどもの紹介、SSW、SCからの紹介
- 小学校での職員研修（メンター研修・人権研修など）
- こども家庭支援課、教育委員会、児童相談所、療育センター

国（文科省の方針）

- ・教育機会確保法（H29）及び基本指標の学校現場への周知・浸透

支援に際しては、登校という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指す必要がある。なお、これらの支援は、不登校児童生徒の意思を十分に尊重しつつ行うこととし、当該児童生徒や保護者を追い詰めることのないよう配慮しなければならない。

- ・フリースクール等、民間団体との連携

不登校児童生徒の多様な状況に応じたきめ細かい支援を行う観点から、地域の実情に応じ、教育委員会・学校と多様な教育機会を提供している民間の団体とが連携し、相互に協力・補完し合いながら不登校児童生徒に対する支援を行う取組を推進する。

④学校連携・公民連携・ 民民連携

～ みんなの居場所 つながるかけカフェ COME HOME ～

「ごどもから大人までが、ゆるやかにつながり、
あたたかなかわり生まれる地域カフェ」
そんな場所を、下和泉住宅街につくりました。
どなたでもお立ち寄りください。

**手作り
日替わり
ランチ**

ランチとドリンクは
テイクアウトできます
(汁物・デザート除く)

◇主菜・ご飯 500円

◇主菜・ご飯・副菜・汁物 700円

◇主菜・ご飯・副菜・汁物・ドリンク・ミニデザート 1000円

地元産・旬の採れたて野菜を使っています

■下和泉地区センターから徒歩10分
■下和泉わきみずの森から徒歩3分
■神奈中バス停「下和泉」から徒歩10分
■Eバス停「三丁目北」から徒歩5分

テラス席は
ワンちゃんOK!

小さなお子様連れの方も大歓迎!
お散歩帰りに、授乳やおむつ替えの
場所としてもご利用ください
お子様用のジュースやミルク
(ミニサイズ100円) もございます

**ドリンク
&
スイーツ**

コーヒー・紅茶・ミルク
は、ホットもアイスも
ご用意しております

かけカフェブレンドコーヒー 350円

和紅茶 350円

日替わりスイーツ+ドリンクセット 600円



○親の会との連携、

○就労支援の場
としての
コミュニティカフェ
の運営

④学校連携・民民連携



○民間団体
20団体との
ネットワーク

「泉区こども
若者の居場所
連絡協議会」

学校

行政

地域

民間

民間の支援団体



こども食堂



就労支援の場



学習支援の場

学校・カウンセラー・スクール
ソーシャルワーカーとの連携



地域の居場所・ケアプラザ
「かけはし」



地域の方々



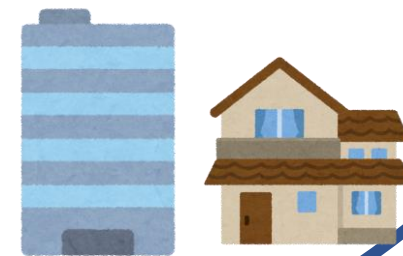
民生・主任児童委員



子ども家庭支援・生活支援



西部療育センター・戸塚療育センター



西部ユースプラザ
子ども家庭支援センター

⑤現状の課題と今後の可能性

- 持続不可能な財政状況
- 専門性をもった人材確保の難しさ
- ボランティアの支え・マネージメントの困難さ
- 教育のあり方（こどもの育ちや学び）を
共に考え、地域全体でこどもを見守る
まちづくりへ